

**熱い2日間！3Dプリンタ自助具作成ワークショップin大分**



10月7日と8日の二日間に渡り、世界でご活躍されるFablab品川の林園子先生(作業療法士)と濱中直樹先生(一級建築士)を招いて、3Dプリンタを本気で学ぶワークショップを開催致しました。県外から参加される方も多く、非常に熱い二日間となりました。作業療法を行う中で、自助具(障害や病気などで困難な動作を補う為の道具)を使って生活改善や目標達成に向かって訓練をしたりします。今まではその道具を100均などで購入したものを組み立てたり、あるものを工夫して自助具を作成していました。その為、デザイン性や汎用性に弱く、もう少しこうなれば良いのになあ、という要望に対処しにくい状況でした。しかし、3Dプリンタはこのような要望にも細かく対応でき、更にはデザイン性も高い為、つい使いたくなるようなものを作ることができます。今や、3Dプリンタで家や車も作られており、更には臓器まで作られている時代です。

今回参加された方の中には、作業療法士だけでなく、ケアマネさんや学校の教員など他職種に渡り、3Dプリンタの面白さに触れる事が出来ました。終了後に3Dプリンタを購入しました。という方が多くいらっしゃいました。私ももう一台購入しました(笑)

もし、何か自助具についてお困りの事などありましたら、お気軽にご相談下さい。

**リハビリコラム**

**外出訓練から得たもの**

Aさんは、病前友人と一緒に定期的に外食へ行くのが楽しみでした。その為、外食へ行きたいというのが一つの望みです。4カ月前まで二人係でベッドから車いすに移っていたのですが、外食へ行くという目標に向かって頑張り、現在は1人で車いすに移り、1人で立てる事もできます。

外出を実現させるまでに、主治医やケアマネ、訪問看護師と連携を取り、当日の福祉タクシーの手配や、屋外へ出る為の練習や手順の確認、車いすの再選定、お店の下見などの準備を行い、当日のしおりも作成しました(写真①)。当日が来るまで、とても楽しみにされていて、何を注文するか。お土産には何をかうか。など考えていました。

そして、いよいよ外出への実現の日が来ました。事前に練習したように福祉タクシーまで乗り込む事ができ、久しぶりに見た車中からの別府の風景に、懐かしさを感じていました。お店に着くと、訪問看護師さん達が待っていて、益々嬉しそうでした。いつもはあまり食欲がないAさんですが、この日は殆ど完食されました。外出という一つの目標が達成された事で、本人の中の可能性が拡がり、選択肢が増え、今後の生活の楽しみが一つ増えました。



写真①



※写真は本人の許可を得て掲載しています。



人と人、人とまち、人と作業を繋げる。

まずはお気軽にご連絡ください

**☎ 090-5087-3813**

別府市リハビリリンク

🔍 検索

